

## 5-1-3 国土交通省所管管理ダム数

令和4年3月末時点

分類		H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/ R1	R2	R3
	直轄	97	98	99	99	100	100	101	104	104
	機構	23	23	23	23	23	23	23	24	24
直轄・機構		120	121	122	122	123	123	124	128	128
補助		426	430	433	434	435	435	438	442	443
ダム		546	551	555	556	558	558	562	570	571
	直轄	14	14	13	13	13	13	13	13	13
	機構	6	6	6	7	7	7	7	7	7
堰・導水路等		20	20	19	20	20	20	20	20	20
ダム等		566	571	574	576	578	578	582	590	591

## 5-1-4 完成ダムによる機能

令和4年3月末時点

区分	直轄	水機構	補助	合計
ダム	117	31	443	591
有効貯水容量 (百万m <sup>3</sup> )	5,853	4,333	3,896	14,082
洪水調節容量 (百万m <sup>3</sup> )	2,908	1,992	1,950	6,850
農業用水容量 (百万m <sup>3</sup> )	987	479	266	1,732
都市用水容量 (百万m <sup>3</sup> )	1,098	2,199	752	4,048

- (注) 1 本表で対象とするダム（水資源開発を目的として設置された堰、湖沼開発、遊水地、流況調整河川を含む）は、その目的として洪水調節又は河川の流水の正常な機能の維持を有しているものである。
- 2 琵琶湖開発、霞ヶ浦開発については、水機構に計上している。
- 3 生活貯水池については、補助に計上している。
- 4 洪水調節容量は洪水期における最大の確保容量を計上している。
- 5 複数の機能を含めた容量にて管理を行っている場合は、容量の分割をせず、それぞれに計上している。
- 6 四捨五入の関係で、合計の合わないところがある。